

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 186 号)

発行日：2023 年 (R5) 1 月 18 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)

## 戦争は最大の環境破壊と差別を生み出します！

寒波、寒波、寒波！言われて久しい今シーズン。12 月中旬は確かに寒かった。ラニーニャ現象が起きている冬は、大雪で寒いとか。しかし正月から今までは暖かい。今日 (14 日) は雨が降ってはいますが「異常」ともいえる気温。スキー場は雪不足で閉鎖しているところもあるみたいです。

昨年の「梅雨」といい、天気予報が全く信用できない状態です。パソコンが導入され 1 時間後の天気予報も確認できる時代ですが、私は「鵜呑みにしない」ようにしています。自然は複雑で、何が関係して起こる現象かは捉えきれないのです。「森羅万象」をデータ化することもできるわけではないでしょうし。結局「神のみぞ知る」領域は暴ききれない。よく心にとどめおきたいと思います。

(今住 1 月 14 日作成)

## 定期活動 ★12 月 25 日 (日) 第 3 湿原又マガヤ刈り 13 名で作業

前回の第 4 湿原に続き、今回は第 3 湿原の作業です。久しぶりに監督 (小学 6 年) も参加。勉強が忙しいらしく、昨年の 3 月以来の登場。またまた成長中。この成長には何か秘密があると思い、「何食べてるのん？」と聞くと「家のご飯」。まーそうですわな。成長とは不思議です。様々なパターンがある。



手仕事は細かいところに手が届く

さて作業ですが、人数が多いので効率よく進みました。刈り払い機 5 台投入。危険が無いよう距離をとっての作業。刈り取った又マガヤ類はまとめて湿原外へ。毎年のことで、しんどい作業ですがやった後の達成感は最高。そのためやりすぎに注意！は前回で検討した通りです。

手仕事も大事で、木道下の機械が入れない場所などでとても「いい仕事」をします。

手仕事ならではの発見も。キタキチョウ (北黄蝶 以前はキチョウ) の越冬を発見しました。なかなか越冬する昆虫は見つけれないもの。特に越冬チョウが春先にあんなに美しい姿を見せるのは驚異としか言えません。

どんな場所で、どんな風に冬を乗り越えるのか今回学ばせていただきました。ま〜見つけれられたということは、チョウにとっては「しくじり」かもしれませんが…私はチョウやトンボの中に成虫で越冬する種がいることを「おじさん」になるまで知りませんでした。チョウは蛹



越冬中のキタキチョウ 見つかったらあかんがな！

や卵で、トンボはヤゴで越冬と思いこんでいました。(アカトンボの多くは卵で越冬) 小学校か中学校の理科で習っていたのかもしれませんが、それを知ったとき「戦慄」が走りました。いやほんと。

数年前になります。環境学習で来ている西谷小学校3年生がキタキチョウの研究発表で「夏型」「冬型」などと発表しているのを単純に「すごい!」と思いました。なんでも「同じ」ではなく、多様であると自然から学べるんだな〜と。魚では性転換する種も多数。今の「LGBTQ」の理解にも通じる



奇妙な形のイバラ まるで「悪魔の手」

気がします。多様性は、当然人間界にも必要なものではないかと思えます。調べるともっといろいろ「思い込み」が崩れていきます。キタキチョウもオスは越冬するものとしないうちのものがいるそう。精子の受け渡しが終わったオスは越冬なし? みたいです... ということは貯精したメスもいるということに... 奥が深い。世の中は知らないことばかりです。ちなみにモンシロチョウは... 蛹 (例外ありらしい)、越冬トンボはイトトンボ (均翅亜目) 3 種のみ。と言われていますがこれも思い込みかも?

作業に戻りましょう。西側湿原内の刈り取りはほぼ終了。

環境の多様性維持のため残す部分もあります。経過を観察していく予定。

またも手作業で刈り取ったイバラの中に妙なものが。監督が持ってきました。よくわかりませんが、先が6本に分かれて幹の部分が平べったくなったもの。想像するに、木や石などの狭い隙間から芽を出したイバラ6本が大きくなるに従い合着。空間が広がったところで再び別れ6本になった? 勝手な想像です。せっかく成長したのに気の毒ですが今回は伐り取り。株は生きていますので、この繰り返しが続くのか? サステナブル? 根はどんどん大きくなるのか? 強い植物です。

次回は東側、第1湿原の作業になります。

宝塚市からお願いしていた消耗品が届きました。ありがとうございます。助かります。



作業後は気持ちがいい 途中やけど...



宝塚市からの支給品

### 見積もり? ★1月12日(木) 丹波市森林組合による伐採箇所下見 (阪神北県民局発注予定)

ここ数年連続して湿原周辺の雑木を伐採していただいています。今年度分の場所を下見してきました。毎年丁寧な作業で疎林状態にいただいています。今年度お願いするのは、第1湿原から第2湿原へ向かう遊歩道東側。

まだ発注も含め確定していませんが、うまく行くと2月の初めから約2週間の作業のようです。どのようになるか楽しみです。

ついでと言っはなんですが、トレイルカメラのデータも集めてきました。

森林組合の方は青垣(丹波市)から来られているのですが、や



面積はどれぐらいでしょうか 相談中



ニホンノウサギ

ホンドテンかな？



くつろぎ中のニホンジカ



鳥？やはりシカか？

はり丹波市もシカ被害がひどいそうです。

さらにカメラの話をする、熊（ツキノワグマ）がシカよけのネットをなぎ倒す様子が写っていたとか。恐ろしい！柿が好物らしく、短く剪定して実がならないようにしていたのに、枝が伸びて実が付きだすとまた同じ木にやってくるそうです。場所を確実に覚えているという話でした。

丸山のカメラには、熊ではなくニホンジカ（日本鹿）が相変わらず写っていますが、新年に合わすかのようにニホンノウサギ（日本野兎）も写っていました。（実は12月ですが・・・）それとホンドテン（本土貂）？と思われる動物も今回は登場。兎は猛禽類の獲物にもなります。夜にカメラに写っている鳥？もあり。フクロウの類ではないかと思います。（動きが早く画像が流れています）ひょっとすると、シカかテン、キツネなどが飛び跳ねているだけかもしれません。悪しからず。

結構毎晩騒がしいようです。又マガヤ

を見てみるとルートらしきものもできています。刈り取り後、どう動いているかがよく見えるかもしれません。楽しみやら怖いやら。2月後半の画像に、乞うご期待！

### 定期活動 ★1月14日（土）雨のため中止！ データは16日（月）のもの

基礎調査と湿原刈り取り作業の予定でしたが、かなりの雨が予想されましたので中止としました。データについては16日（月）に取ったものです。ご承知ください。

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導（EC）	PH
丸山	32	27	入口	9：00	12.1℃		
登山・ハイキング	60	57	第3湿原	9：30	【8.2℃】	29.9 $\mu$ S/cm	6.7
散歩	16	12	視点場	9：48	8.7℃	24.0 $\mu$ S/cm	6.7
			第1湿原	10：02	【7.7℃】	29.4 $\mu$ S/cm	7.2
			第2湿原	10：29	【7.2℃】	33.4 $\mu$ S/cm	6.5

来場者数計 204 人  
（竹筒ポスト集計）

実は16日（月）は「はなみずき保育園」本園がお越しになる予定でしたが、天候が不順なことで延期。データを取っていませんでしたので、少し早い時間からでしたが3人で回ってきました。

どんよりした天気。西宮や宝塚市街では結構な雨も降っていたとか。西谷は雨は降らず、回復傾向にありました。「寒中」とは思えない気温。データを見ても12月の方が水温も低い状態でした。



第1湿原上手 シカになぎ倒されたヌマガヤ



湿原内のシカの糞

再び寒波襲来という噂ですが長続きはしないのではと思います。結局今年も暖冬となるような。冬場に産卵する生き物たちはどう判断するのでしょうか？

雨の影響もあるかもしれませんが、今回シカがかなり踏み荒らしていました。今まで気付かなかったのか、今年が激しいのかはわかりません。水位があるかないかの部分に集中して入っているようです。寝転んでいるのかも。トレイルカメラにもヌマガヤの中にしゃがみ込む姿が写っていました。



湿原内のヌマガヤにも通り道のような、何本ものヌマガヤ(イヌノハナヒゲ?)に筋が通路?筋が…ヌマガヤの中から現れるシカはカメラに収められていたのですが、今回のようにはっきりと肉眼で気が付くことはありませんでした。第1湿原に集中的に入っているようです。トレイルカメラを取り巻くように。グラビア撮影でもし

ているつもりでしょうか?出そうな「獣道」周辺に設置はしたのですが。

来年度の植生などの様子で影響が出るのか考える必要があります。影響がなければ「適度な攪乱?」でいい?でも頭数管理は必要。猟師が罠をかけるのは、木材と同じで運び出しが便利なところ。湿原周辺はあり得ない?まあ、どこで獲っても総数が減るので頑張ってほしい。ただ、シカは肉があまり取れない上に人気もないとか。背ロースはうまいですが…イノシシは未だパンデミック中。

### お知らせ ★今年度の両生類卵塊数調査

毎年行っていた両生類セミナーですが、諸般の事情があり今年度は中止となりました。卵塊数調査は例年通り行いますので是非ご参加ください。2月25日(土)を予定しています。半日の調査となります。卵塊数にもシカの影響が出るのか?第1湿原での卵塊数が減ったのはシカのせい?逆に、昨年たくさん見つかった第4湿原の卵囊数(セトウチサンショウウオ)は今年どうなるのか?例年より少し早い調査になりますが、最近産卵が早まっているような気がします。ぜひご参加ください。

セミナーについては来年度以降、両生類のみではなく他も含めたセミナーを検討していきたいと思えます。ご意見ありましたらお申し出ください。

もう一つ、なぜか計画すると中止になってしまう「北摂里山愛す会」との協働作業が3月11日(土)に決定しました。あまり手が回らない第2湿原を予定しています。「愛す会」のほかにも参加してやろうという方は気兼ねなくご参加ください。1日の活動になります。弁当持参。但しトイレなし。(昼食時トイレツアーはあるかも)半日の参加でもOKです。通常の活動日にもなっています。10:00 駐車場集合です。お気楽に。無理なく楽しく!

丸山湿原  
両生類卵塊数調査

無料

今年事情で  
セミナーはなし!

2023年2月25日(土)

丸山湿原 駐車場集合  
10時~12時頃まで

飲み物、筆記用具、  
雨具、長靴が必要

お問い合わせ  
西谷地区まちづくり協議会事務局内  
TEL/Fax 0797-91-1788  
保全の各連絡先 090-1895-8061 (今住)  
E-mail: maruyamashitusenqu@gmail.com




丸山湿原 西谷地区まちづくり協議会事務局(事務局)  
丸山湿原群保全会(事務局)  
丸山湿原群保全会(事務局)

セトウチサンショウウオ卵塊  
ニホニアマガエル卵塊

次回活動日 2023年1月22日(日) 2月11日(土) 26日(日) 3月11日(土) 協働